



ペロブスカイト太陽電池の社会実装モデルの創出に向けた導入支援事業について

2025年9月12日

環境省



1. ペロブスカイト太陽電池導入支援事業の概要について
2. アンケート結果について
3. 支援事業の公募概要について
4. ペロブスカイト太陽電池導入支援事業の来年度概算要求について

1. **ペロブスカイト太陽電池導入支援事業の概要について**
2. アンケート結果について
3. 支援事業の公募概要について
4. ペロブスカイト太陽電池導入支援事業の来年度概算要求について

ペロブスカイト太陽電池の社会実装モデルの創出に向けた導入支援事業

(経済産業省連携事業)



【令和7年度予算 5,020百万円 (新規)】

ペロブスカイト太陽電池の国内市場立ち上げに向け、社会実装モデルの創出に貢献する自治体・民間企業を支援します

1. 事業目的

軽量・柔軟などの特徴を有するペロブスカイト太陽電池は、これまで太陽電池が設置困難であった場所にも設置を可能とするとともに、主な原料であるヨウ素は、我が国が世界シェアの約30%を占めるなど、再エネ導入拡大や強靱なエネルギー供給構造の実現にもつながる次世代技術である。ペロブスカイト太陽電池の国内市場立ち上げに向け、その導入を支援することで、導入初期におけるコスト低減と継続的な需要拡大に資する社会実装モデルの創出を目指す。

2. 事業内容

ペロブスカイト太陽電池の導入初期における発電コストの低減のため、将来の普及フェーズも見据えて拡張性が高い設置場所（同種の建物への施工の横展開性が高い場所、需要地と近接した場所や自家消費率が高い場所、緊急時の発電機能等が評価される場所等）への導入を支援することで、社会実装モデルの創出に貢献する。

<対象>

・従来型の太陽電池では設置が難しい場所に導入する事業であり、一定の要件を満たすもの

<主な要件>

- ・導入するフィルム型ペロブスカイト太陽電池が性能基準を満たすこと
- ・同種の屋根等がある建物への施工の横展開性が高いこと
- ・導入規模の下限、補助上限価格
- ・施工・導入後の運用に関するデータの提出 等

3. 事業スキーム

- 事業形態 間接補助事業（補助率：2 / 3、3 / 4）
- 補助対象 地方公共団体、民間事業者・団体
- 実施期間 令和7年度～

4. 補助事業対象の例



フィルム型ペロブスカイト太陽電池の導入イメージ

お問い合わせ先： 環境省 大臣官房 地域脱炭素推進審議官グループ 地域脱炭素事業推進課 電話：03-5521-8233
環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 地球温暖化対策事業室 電話：0570-028-341
資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部新エネルギー課 電話：03-3501-4031

- ペロブスカイト太陽電池の早期の社会実装に加え、事業者の一定の投資予見性を確保し、生産体制構築を促す観点から、**初期需要の創出を行う。**
- GI基金による実証事業等により得られている知見を踏まえつつ、**将来の普及も見据えて拡張性が高い設置場所への導入を支援することで、社会実装モデルの創出を目指す。**

項目	概要
補助対象者	➤ 地方公共団体・民間企業等
補助対象費用	➤ 性能基準を満たすフィルム型ペロブスカイト太陽電池モジュール・付帯設備等の設置費用
主な要件	➤ 従来型の太陽電池では設置が難しい場所に導入する事業であること ➤ 一定以上の導入規模が見込めること ➤ 施工・導入後の運用・実績に関するデータを提出できること 等
補助率	➤ 2/3、3/4※ ※防災力の強化に資する等の一定の要件を満たすもの
公募期間	➤ 令和7年9月4日～10月3日
補助期間	➤ 原則として単年度

- 目的： 令和7年度から実施する補助事業の事前案内も含め、ペロブスカイト太陽電池の導入予定や補助金活用意向、本補助金への要望等を早期に把握し、補助事業の円滑な実施につなげるため、アンケート調査を実施する。
- 調査対象： 官民協議会に参画している自治体・民間企業
- 調査項目：
 - ①太陽光発電等の導入促進に係る行政計画（自治体のみ）・導入目標
 - ②ペロブスカイト太陽電池の導入検討状況・導入予定
 - ・設置場所／設置場所の耐荷重／設置規模／設置時期／導入形態 等
 - ③補助金活用について
 - ・活用意向・時期／活用規模／本補助金についての意見・要望
 - ④課題、今後の展開、ペロブスカイト太陽電池の普及に向けての意見・要望 等
- 調査方法： メールで送付する調査票に回答を記入の上、メール返送
- 実施主体： 一般社団法人環境技術普及促進協会（補助金執行団体）
- 調査時期： 令和7年5月16日～6月6日（結果について本日報告）

1. ペロブスカイト太陽電池導入支援事業の概要について
- 2. アンケート結果について**
3. 支援事業の公募概要について
4. ペロブスカイト太陽電池導入支援事業の来年度概算要求について

1. ペロブスカイト太陽電池導入支援事業の概要について
2. アンケート結果について
- 3. 支援事業の公募概要について**
4. ペロブスカイト太陽電池導入支援事業の来年度概算要求について

1. ペロブスカイト太陽電池導入支援事業の概要について
2. アンケート結果について
3. 支援事業の公募概要について
4. **ペロブスカイト太陽電池導入支援事業の来年度概算要求について**

ペロブスカイト太陽電池の社会実装モデルの創出に向けた導入支援事業

(経済産業省・国土交通省連携事業)



【令和8年度要求額 5,000百万円 (5,020百万円)】

ペロブスカイト太陽電池の国内市場立ち上げに向け、社会実装モデルの創出に貢献する自治体・民間企業を支援します。

1. 事業目的

地球温暖化対策計画で示された2030年度、2035・2040年度の各目標や2050年カーボンニュートラルの実現に貢献するため、軽量・柔軟などの特徴を有するペロブスカイト太陽電池の国内市場立ち上げに向けた導入支援をすることで、導入初期におけるコスト低減と継続的な需要拡大に資する社会実装モデルを創出し、民間企業や地域の脱炭素化を進めるとともに、産業競争力強化やGX市場創造を図る。

2. 事業内容

ペロブスカイト太陽電池は、これまで太陽電池が設置困難であった場所やインフラ施設等にも設置が可能であり、主な原材料であるヨウ素は、我が国が世界シェアの約30%を占めるなど、再生エネルギー導入拡大や強靭なエネルギー供給構造の実現にもつながる次世代技術である。本事業では、ペロブスカイト太陽電池の導入初期における発電コスト低減のため、ペロブスカイト太陽電池の将来の普及フェーズも見据えて、拡張性が高い設置場所へのペロブスカイト太陽電池導入を支援する。

①事前調査・導入計画策定

ペロブスカイト太陽電池の導入に向けた事前調査（建物耐荷重の調査や現地確認）や、事前調査を踏まえた構造物単位での導入計画策定を支援し、設備導入につなげる。

②設備等導入

従来型の太陽電池では設置が難しかった建物屋根・窓等・インフラ空間における建物屋根等への、性能基準を満たすフィルム型・ガラス型ペロブスカイト太陽電池の導入を支援する。

<主な要件>

- ・同種の屋根等がある建物への施工の横展開性が高いこと
- ・導入規模の下限、補助上限価格
- ・施工・導入後の運用に関するデータの提出 等

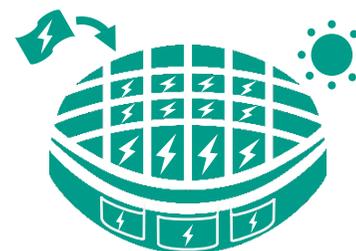
3. 事業スキーム

■事業形態 間接補助事業（計画策定：定額、設備等導入：2/3、3/4）

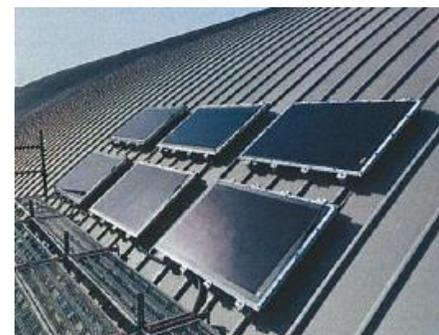
■補助対象 地方公共団体、民間事業者・団体等

■実施期間 令和7年度～

4. 事業イメージ



ペロブスカイト太陽電池の導入イメージ



体育館・アーチ屋根



バスシェルター

出典：積水化学工業株式会社

お問合せ先：

環境省 大臣官房 地域脱炭素推進審議官グループ 地域脱炭素事業推進課 電話：03-5521-8233

環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 地球温暖化対策事業室 電話：0570-028-341

資源エネルギー庁省エネルギー部 新エネルギー部新エネルギー課 電話：03-3501-4031